

～150周年記念の年～

本宮日記

令和6年度

No.12

令和6年12月10日

校訓

ほうしゃく

「宝積」

～人に尽くして見返りを求めない～



盛岡市立本宮小学校

盛岡市本宮 2-25-1

電話 636-0249

心ほっこり 作品展



11月21日・22日の両日作品展を開催しました。ご覧いただけましたか。作品展会の2週間前には、全国大会が終了したばかり。息つく間もなく、子供たちも先生方も作品展会に向けて取り組んできました。どの作品も力作ばかりです。見ているうちに心がほっこりしてきます。

1年生の「オータムリース」は“春からお世話してきた朝顔の蔓に秋の宝物を飾って世界に1つだけのオリジナルリースを作りました”、**2年生の「かぶって変身」**は“花紙にのりを付けて何枚も重ねたら、軽くて楽しい張り子のお面の完成 かぶって遊ぶと楽しい気分になります”、**3年生の「生まれ変わった仲間たち」**は“身近なもので、使わなくなってしまったようなものをアイデアと愛情を込めて楽しい仲間たちに生まれ変わらせてみました”、**4年生の「へんてこ山の物語」**は“こんな形の山見たことない! 誰が住んでいるのかな…何があるのかな…想像を膨らませて楽しく描きました”、**5年生の「原敬生家を描く」**は“本小にとってとても大切な人、原敬。原敬の原点の場所を心を込めて描いてみました”、**6年生の「きらめき劇場」**は“身の回りに溢れている光を生かした作品。友達と協力してひかり方を試したり組み合わせたりして光の美しさを生かしたかざりを作りました”、**あおぞら学級の「あおぞらレストラン」**は“おうちの方に来ていただき、レストランで楽しんでもらいました。頑張りました”

1年生 オータムリース



2年生 かぶって へんしん



あおぞら「あおぞら レストラン」



3年生 うまれかわった なかまたち

5年生 原敬生家を描く



4年生 へんてこ山の物語

四年



6年生 きらめき劇場



本宮の教育を語る会&家庭教育学級 講演；菊池健生さん「南極探見500日」



11月22日(金)に岩手日報記者菊池健生氏を講師としてお招きし、2021年11月から第63次南極地域観測隊越冬隊員として約500日同行取材したときのリアルな経験を6年生の子供たちとPTAの方々にスライドや動画を交えてお話して頂きました。500日分の内容を45分に圧縮した話は、もっと見たい!知りたい!!確かめたい!!! 魅力的な内容ばかりでした。

一例を挙げると・昭和基地って何?
・緑色や赤紫色のオーロラの不思議

・白夜と極夜・南極料理人・氷の厚さは4000メートル!?
・観測隊員はその道の専門家(達人)・閉ざされた世界の中で楽しみを見つけて暮らす等子供たちは食い入るように菊池さんの話を聴いていました。興味をもった子供たちの中から南極に関わりある世界につながっていく人が出てくることを期待したいものです。



←左の書籍は、より具体的にまとめられた記録集です。(本校に寄贈されました)

おめでとうございます 盛岡市福祉作文コンクール最優秀賞受賞

令和6年度盛岡市福祉策分コンクールにおいて最高賞である最優秀賞を本校の6年生中村衣吹さんが受賞しましたのでお祝いすると共に、その作文を皆さんに紹介します。

私が最近感じた「福祉」について

みなさんは、「福祉」について身近に感じたことがありますか。小学生だと、おじいちゃん、おばあちゃんのイメージが強い。「福祉」について、あまり考える機会がないと思います。でも、最近、私の身近に「福祉」について考えさせられる出来事があったので、発表したいと思います▼私のおじいちゃんは、七十六歳で、年を重ねるとともに忘れっぽくなり認知症が少し進んできました。私たちが若者たちが、体も思うように動かず、家の中の生活も一人では難しい状態でした。そんな中、手術のため入院がきまり、退院について考える時に「ケアマネージャー」という職業の方がつくことになりました。「ケアマネージャー」という仕事は、介護が必要な方が適切なサービスを受けられるように相談のつたり色々な介護の事業所と協力をとることをする仕事だそうです。その方は、私のおじいちゃんや退院した後、何かとお世話してくださいます▼私がおじいちゃんの家遊びに行つたとき、様子を見にケアマネージャーさんが来たところでした。最近の様子を聞いたり、色々なサービスを受けられること、困っていることの相談のつたりしていただきました。とても親身になって、優しくおじいちゃんとおばあちゃんの話も聞いてくれたことがすごく印象に残っています▼このことをきっかけに、「ケアマネージャー」という仕事について気になったので調べてみました。「ケアマネージャー」を通して、「介護」という大きな組織につながっているのだということが分かりました。「ケアマネージャー」や「介護施設」に入ることも「ケアマネージャー」と協力して「介護(福祉)」に広げられることが初めて分かりました。ネットで調べると難しい言葉や文書ばかりで小学生の私には、少し理解が難しい内容がたくさんあったけれど、全く知らなかったときよりは少しでも自分の中の知識の一つにすることができました▼ニュースや新聞でも「少子高齢化」という言葉「老人」という用語をよく耳にするなど感じていました。今回「福祉」をテーマに考えたときに、少子高齢化が進む日本には「介護」と「福祉」という協力が必要になってくるのだと思いました。おじいちゃん・おばあちゃんが暮らしやすい世の中にするためには、私たちのような若い人たちが力になれることを見つけ、優しく手をさしのべるような暮らしになることが大切なのだと感じました▼楽しく元気に小学校生活を送っているけれどもそこには、登下校の時に横断歩道に立って私たちの交通安全を見守ってくれたり、応援してくれたりしてもらっているおかげなのだと改めて考えさせられました▼年を重ねるといことはいけないことではなく、むしろ私たちがおじいちゃん・おばあちゃんのことを尊敬する必要があるのだと思いました。私よりも何十年と長く生きていて、人生の経験もあるし、色々なこともたくさん知っているので、たくさん教えてもらいたいと思います▼今回、「福祉」をテーマに考えたときには、はじめはおじいちゃん・おばあちゃんのイメージが強くて、私にはあんまり関係のないことだとばかり思っていたけれど、本当は意外と身近にあることなのだと知りました▼これからの生活で「福祉」について少し考えながら生活していきたいです。また、「ケアマネージャー」という仕事だけでなく、「介護福祉士」など「福祉」に関わる仕事はどんなことをするのか、どのような特徴があるのかを調べて、自分の将来の職業の選ぶ内容が広がっていくようにしたいと思います。

